

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	環境都市工学概論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0045		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	指定せず						
担当教員	石川 雅朗						
到達目標							
1. ダムと生態環境の意義と問題点を説明し、課題を整理することができる。 2. 社会基盤構造物の意義を説明し、課題を整理することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ダムの意義と問題点を説明でき、課題を整理することができる。		ダムの意義と問題点を説明できる。		ダムの意義と問題点を説明できない。		
評価項目2	地域にある社会基盤構造物の意義を説明でき、課題を整理することができる。		社会基盤構造物の意義を説明できる。		社会基盤構造物の意義を説明できない。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ダムと生態環境や地域にある社会基盤構造物の意義や課題を整理することを通じて環境都市工学の重要性を認識する科目である。						
授業の進め方・方法	授業方法は資料呈示による講義，グループごとの課題に取り組む方法とする。課題対して自ら問題意識をもって取り組むこと。						
注意点	環境都市工学を学ぶ動機づけとなる基礎科目であり、しっかりと取り組むこと。 欠席・遅刻は評価点から差し引く。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	環境都市工学の概要		身近な構造物が社会と関係があることを説明できる		
		2週	ダムと生態環境（1）		ダムの種類を説明できる		
		3週	ダムと生態環境（2）		ダムの意義を説明できる		
		4週	ダムと生態環境（3）		ダムの問題点を説明できる		
		5週	ダムと生態環境（4）		県内のダムを役割を説明できる		
		6週	ダムと生態環境（5）		県内のダムの問題点を説明できる		
		7週	ダムと生態環境（6）		県内のダムの今後の課題について説明できる		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	前期中間試験までのまとめ		部分修正して説明できる		
		10週	社会基盤構造物（1）		地域の社会基盤を調べる		
		11週	社会基盤構造物（2）		地域の社会基盤を調べる		
		12週	社会基盤構造物（3）		地域の社会基盤を調べる		
		13週	社会基盤構造物（4）		地域の社会基盤を調べる		
		14週	社会基盤構造物（5）		地域の社会基盤の意義を説明できる		
		15週	社会基盤構造物（6）		地域の社会基盤の課題を整理できる		
		16週	前期定期試験				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	50	50
専門的能力	0	0	0	0	0	50	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0